

大賞

岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」

岩手県

岩手県内の医療機関や市町村などの間をインターネット回線で結び、妊産婦の健診情報や診療情報を共有して、保健・医療関係者の綿密な連携を実現するシステムです。

サービス・システムの狙い

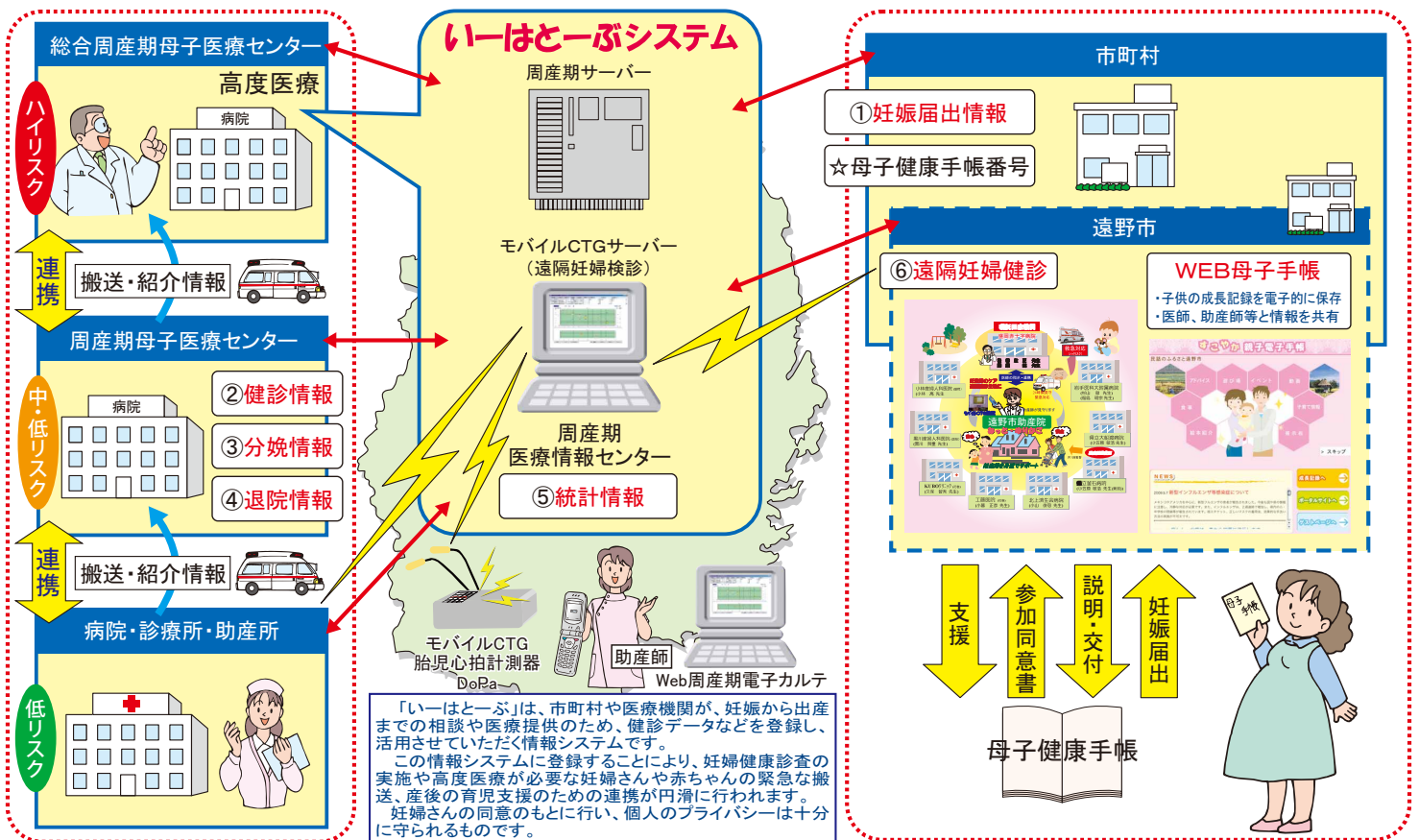
- 安全・安心な妊娠・出産・育児のため、インターネットを介して周産期医療電子カルテネットワークの周産期医療情報を共有し、保健と医療の関係者が連携して妊産婦をサポートします。遠隔妊婦健診やWeb母子手帳と組み合わせることにより、育児に役立つより多くの情報を活用することが可能となります。
- 妊婦健康診査や出産後の退院情報から早期に保健指導や要支援の妊産婦や新生児の把握が可能となることから、保健指導や家庭訪問が適切な時期に可能となります。

利活用の状況と導入効果

- 周産期医療機関、市町村、県が主体となって、平成21年4月に導入開始。岩手県全域に提供。
- 情報共有により検査等が重複防止され、医療費削減につながります。最少に見積もった場合、患者1人の搬送1回につき5,950円の医療費削減効果が見込まれます。
- 遠隔妊婦健康診査を活用した場合、妊産婦の通院に伴う、経済的、心理的な負担の軽減につながります。

岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」の特徴

- 高度医療の必要な妊産婦、胎児、新生児の紹介、健康診査経過の情報共有が可能になります。
- 妊産婦、新生児に対する早期の保健指導ができ、効果的な育児支援が推進されます。
- 事務の効率化とともに、ハイリスク妊産婦や産後メンタルヘルスの速やかな把握と支援が可能となります。



●本件お問い合わせ先

岩手県保健福祉部児童家庭課 少子化担当 担当：武田・和田 TEL：019-629-5470
E-mail：e-wada@pref.iwate.jp